

# みんなの財政のミカタ

平成30年度  
決算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



写真提供：SENDAI 光のページェント実行委員会

令和元年12月  
仙台市

Part1.決算解説編では、仙台市の平成30年度決算についてお知らせします。  
決算は、1年間の市の収入や支出をまとめたものです。

### 目次

1.	平成30年度決算額	1
	仙台市全体の決算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2.	歳入	2
	仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3.	歳出	3
	支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4.	震災復興への取り組み	5
	震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？	
5.	仙台市の財政状況	6
	仙台市の財政状況ってどうなの？	
6.	財政見通しと行財政改革	9
	これからの仙台市財政はどうなるの？	
7.	コラム：平成30年度決算を家計に例えると？	10
8.	地方公会計制度に基づく財務書類	11

### Part2. 資料編

1.	平成30年度特別会計・企業会計決算の状況	
	(1) 収支の状況	17
	(2) 平成30年度に行った主な事業	18
2.	令和元年度上半期の財政状況（令和元年9月30日現在）	
	(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	23
	(2) 市債、市有財産、基金などの状況	25

# 1. 平成 30 年度決算額

## 仙台市全体の決算額は？「3つのお財布」ってなに？

平成 30 年度の 1 年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われたのか見てみましょう。

	平成 30 年度 歳出（支出）決算額
総 額	1 兆 231 億 3,824 万円
一 般 会 計	5,019 億 1,854 万円
特 別 会 計	2,988 億 3,455 万円
企 業 会 計	2,223 億 8,515 万円

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。

収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。

### それぞれの会計の特徴は？

#### 一 般 会 計

福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行う会計です。収入は市税や地方交付税等によってまかなわれます。

#### 特 別 会 計

特定の事業を特定の収入によって実施するための会計です。保険料など特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要があります。仙台市には、国民健康保険事業や介護保険事業など、10 会計があります。

#### 企 業 会 計

地方公共団体が直接経営する、地方公営企業の会計です。それぞれ利用者の方々が支払う料金等の収入で事業を行います。仙台市には、下水道・地下鉄・バス・水道・ガス・病院の 6 会計があります。

→ 「みんなの財政のミカタ」では、次のページから主に「一般会計」について説明をしています。特別会計・企業会計の決算については、「Part.2 資料編」をご覧ください。

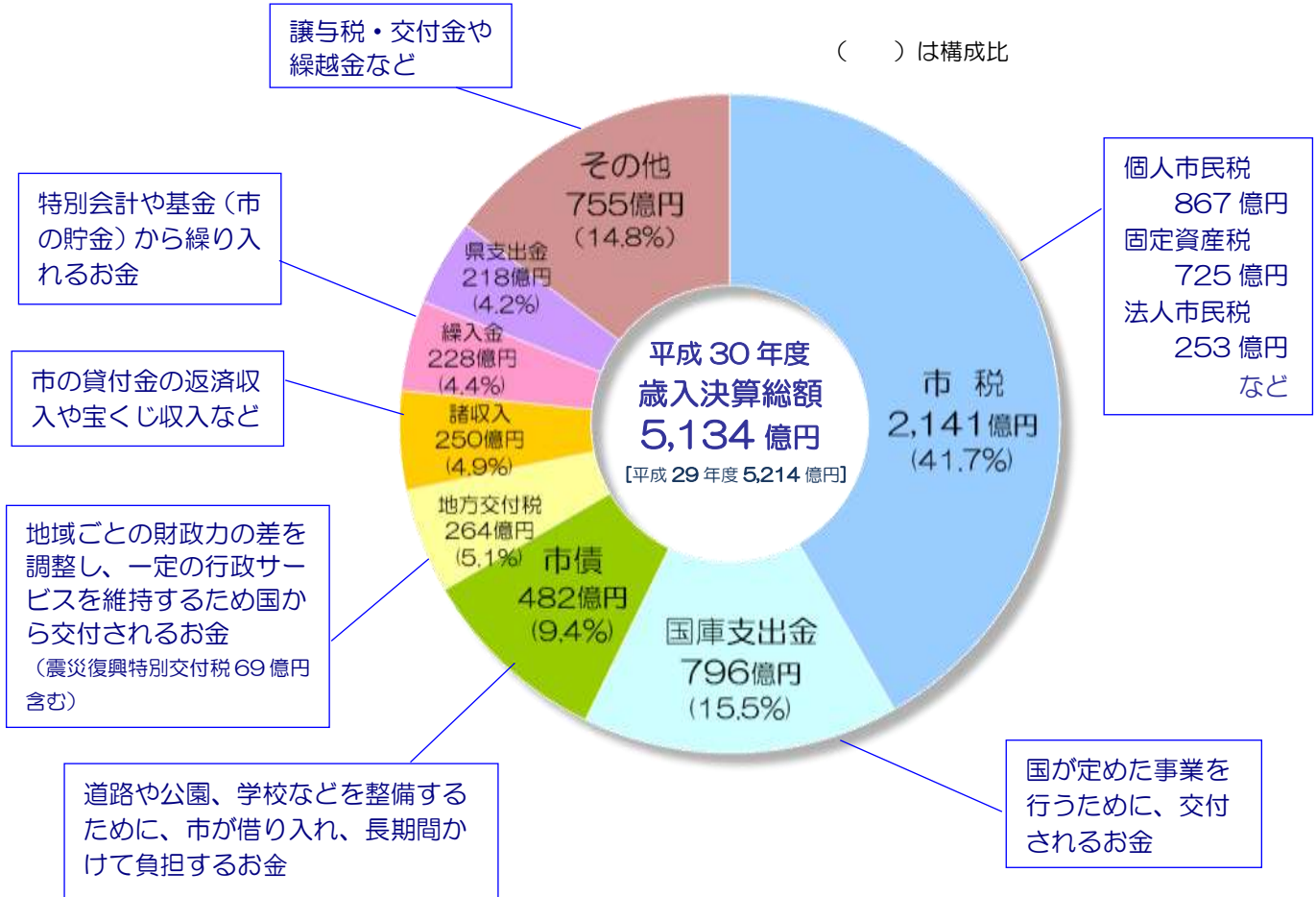
## 2. 歳入

### 仙台市の1年間の収入は怎么样了の？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

平成30年度の歳入決算額は前年度から80億円減少し、5,134億円となりました。

( )は構成比



#### 平成30年度決算の特徴は？

##### 市税

個人市民税や固定資産税の増加などにより、前年度から229億円増加しています。[H29年度 1,912億円]

##### 国庫支出金

東日本大震災復興交付金の減少などにより、前年度から37億円減少しています。[H29年度 833億円]

##### 繰入金

東日本大震災復興交付金基金からの繰入が減少したことなどにより、前年度から51億円減少しています。[H29年度 279億円]

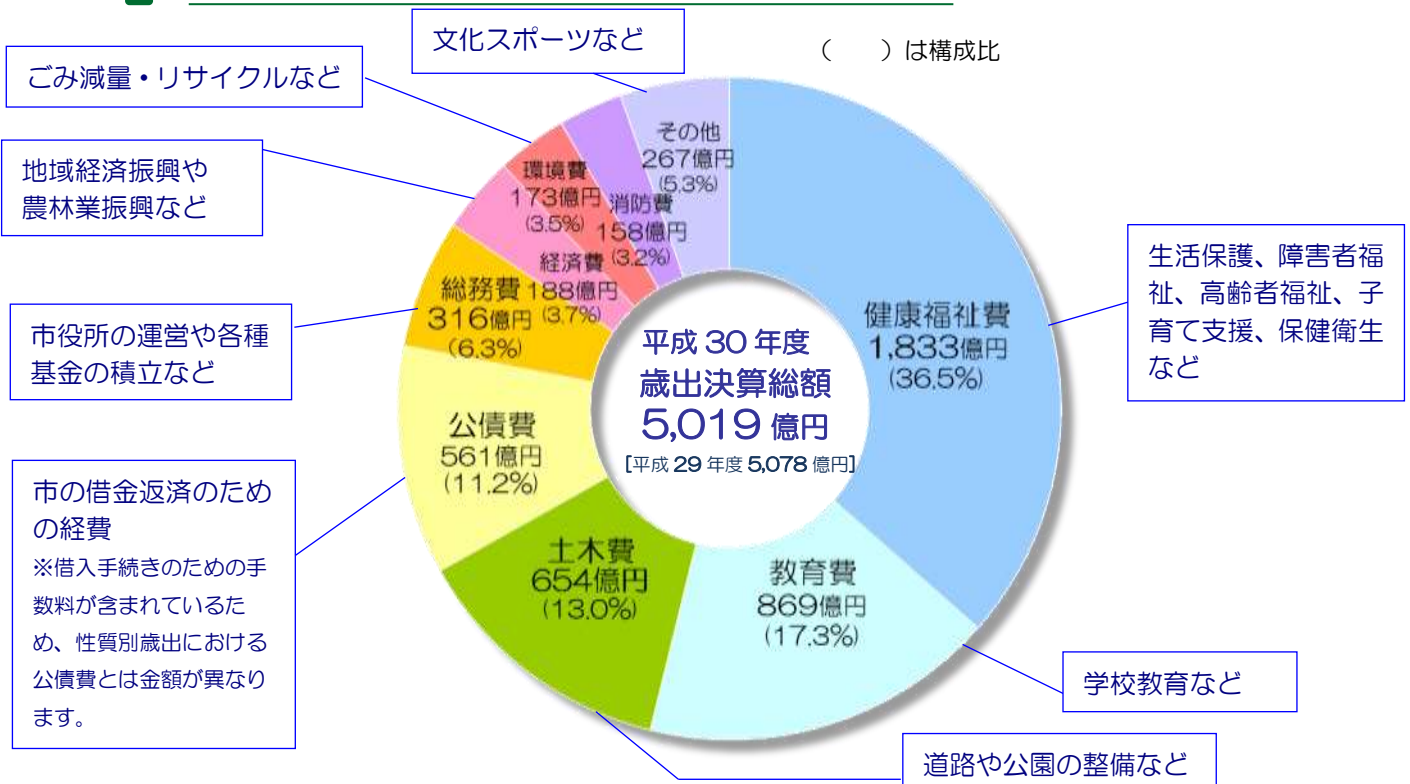
# 3. 歳出

## 支出の「2つの見方」ってどういうこと？

平成 30 年度の歳出決算額は前年度から 59 億円減少し、5,019 億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、人件費、扶助費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

### 目的別歳出



### 平成 30 年度決算の特徴と主な事業は？

#### 健康福祉費

子ども・子育て支援新制度に要する経費の増加などにより、前年度から 23 億円増加しています。[H29 年度 1,810 億円]

- ◆ 生活保護 296 億円
- ◆ 私立保育所運営委託 170 億円
- ◆ 児童手当 159 億円

#### 教育費

学校建設費の増加などにより、前年度から 28 億円増加しています。[H29 年度 841 億円]

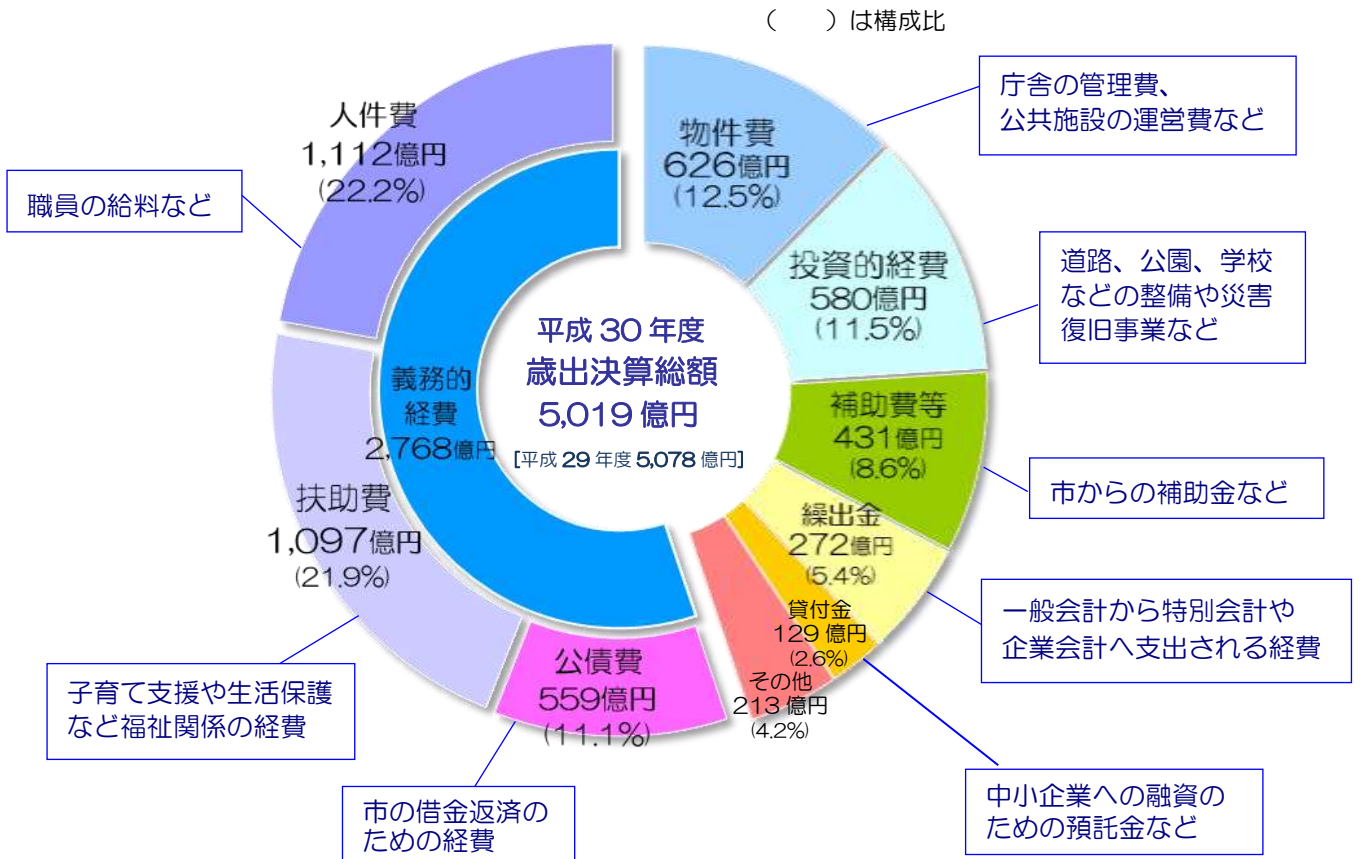
- ◆ 学校維持修繕 37 億円
- ◆ 学校建設 34 億円

#### 総務費

東日本大震災復興交付金基金への積み立ての減少などにより、前年度から 64 億円減少しています。[H29 年度 380 億円]

- ◆ 公共施設保全整備基金積立 32 億円
- ◆ 高速鉄道建設基金積立 19 億円

## 性質別歳出

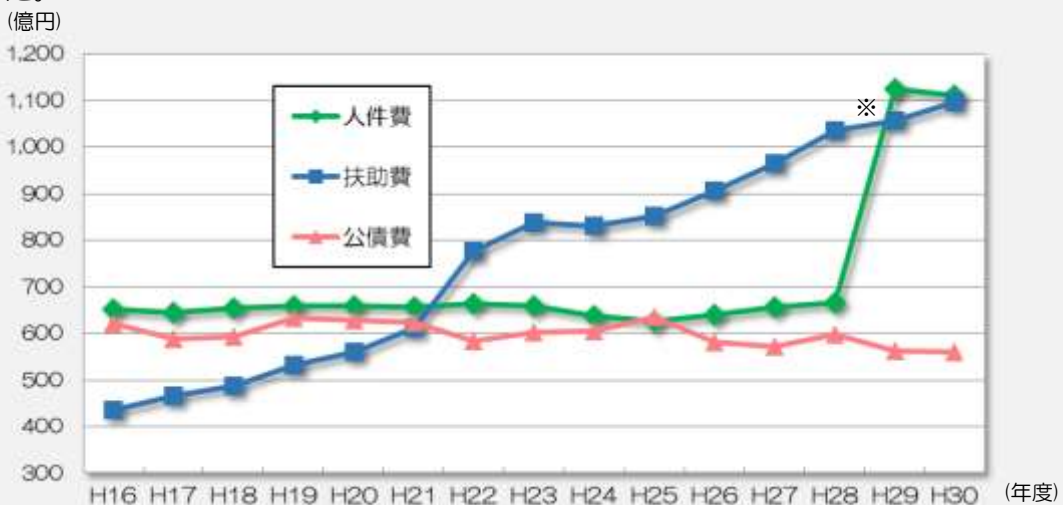


グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。

これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

### 義務的経費の推移は？

平成 30 年度決算における義務的経費の総額は 2,768 億円で、前年度から 23 億円増加しました。



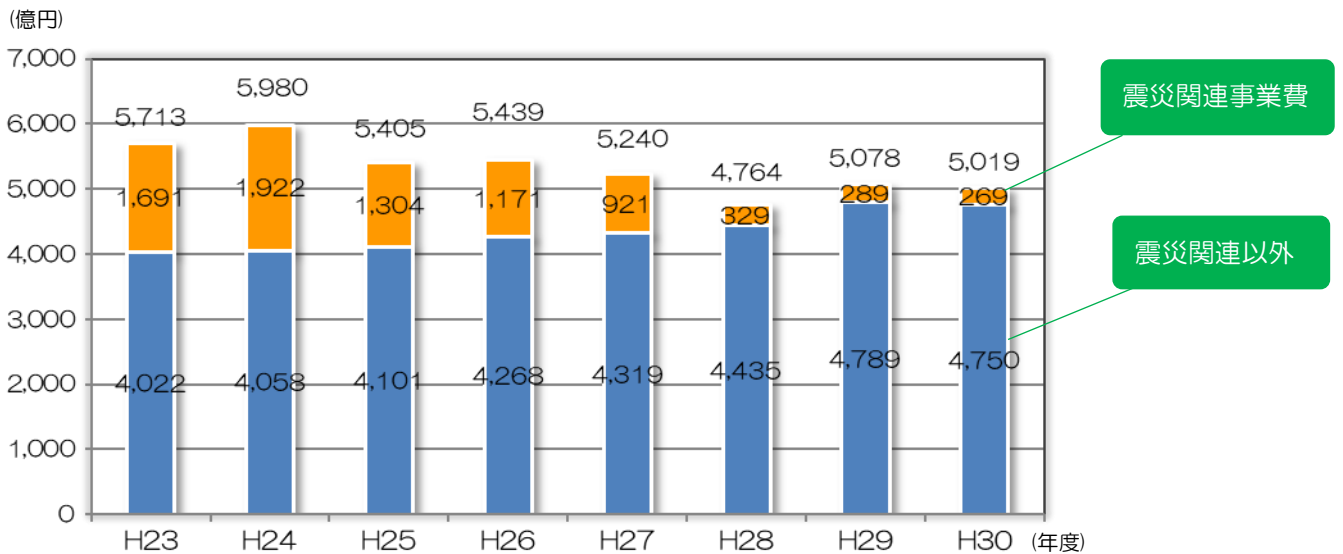
※地域の実情に応じた学校教育を実現するため、市立小・中学校の教職員に関する給与、学級編成基準の決定等の権限や財源を、平成 29 年 4 月 1 日に宮城県から仙台市に移譲したことに伴い、人件費が平成 29 年度から大幅に増加しています。

## 4. 震災復興への取り組み

### 震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？

続いて、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災からの復旧・復興に使われた事業費の推移を見ていきましょう。

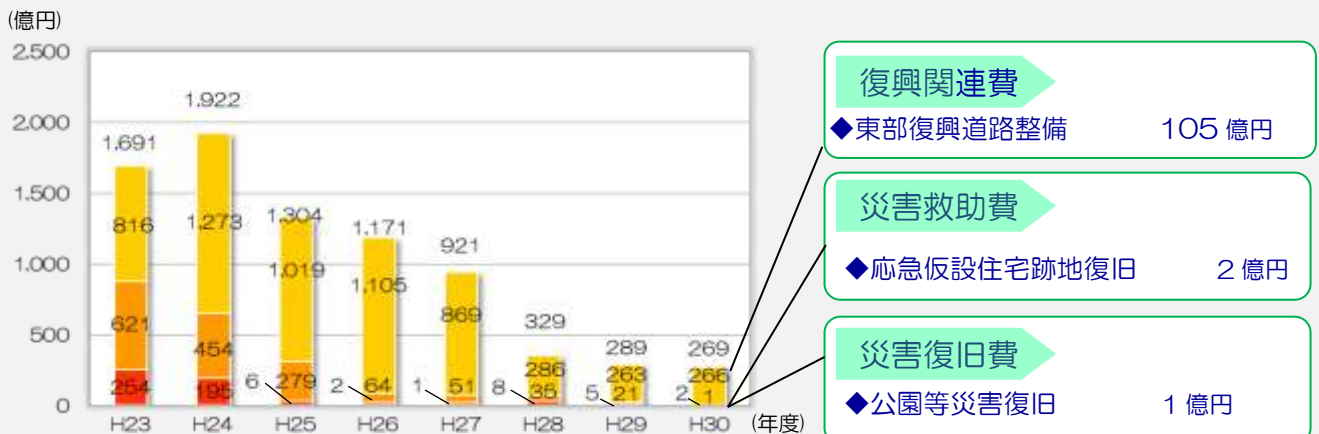
#### 一般会計歳出に占める震災関連事業費



平成 30 年度決算における震災関連の事業費は、269 億円となり、前年度から 20 億円減少しました。この理由として、復旧事業の進捗に合わせて、公園などの災害復旧費が減少したことなどが挙げられます。

#### 震災関連事業費の内訳は？

震災関連事業費の内訳を見てみると、震災直後に必要な災害救助費や災害復旧費が徐々に減少する一方、防災集団移転や復興公営住宅建設などの復興関連費が占める割合が徐々に大きくなったことが分かります。



## 5. 仙台市の財政状況

### 仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、一般会計の決算額について見てきました。

しかし、これだけでは仙台市の財政が健全かどうかを判断することができません。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、財政指標や市債残高を見ていきましょう。

#### 健全化判断比率

「健全化判断比率」は、**地方自治体の財政運営がどのような状況にあるのかを把握し、早い段階で健全化へ向けた取組みが必要かを判断するための指標**です。

いずれかの指標で一定の基準を超えた場合、財政健全化のために計画をつくることなどが義務付けられます。

指標	解説	平成 30 年度 決算	早期健全化 基準 ※2	財政再生 基準 ※3
実質赤字比率	$\frac{\text{一般会計等※1の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	$\frac{\text{すべての会計の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	16.25%	30%
実質公債費比率	$\frac{\text{1年間の借金返済費用}}{\text{財政規模}}$	7.2% (8.2%)	25%	35%
将来負担比率	$\frac{\text{将来負担する可能性のある負債}}{\text{財政規模}}$	85.5% (101.1%)	400%	

表中の「-」は、赤字が生じていないことを示す。( ) は平成 29 年度決算の値。

※1 一般会計等とは、一般会計と一部の特別会計(都市改造事業・公共用地先行取得事業・公債管理・母子父子寡婦福祉資金貸付事業・新墓園事業)を合わせたもの。

※2 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※3 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。



平成 30 年度決算に基づく仙台市の健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、昨年度との比較において大きく悪化したものもなく、これらの指標はおおむね適正な水準にあると言えます。

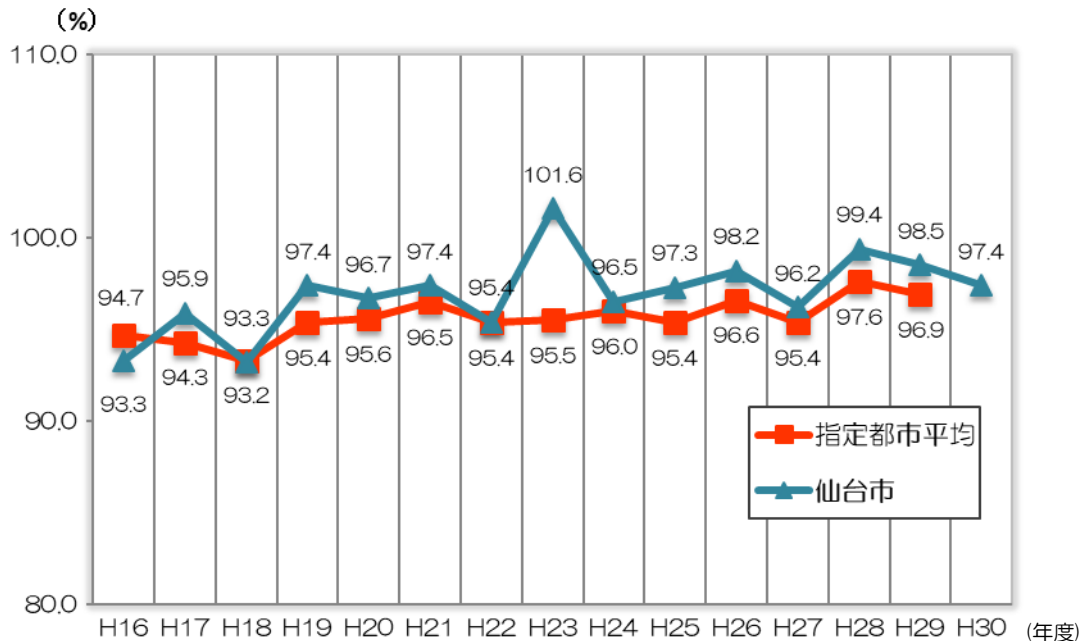


## 経常収支比率の推移（普通会計※決算ベース）

「経常収支比率」とは、**財政構造の弾力性を表す指標**です。

市税など毎年の経常的な収入である一般財源が、扶助費など毎年固定的に支出されなければならない経常的経費に、どの程度充当されているかで算出されています。

この比率が高いほど、政策的な経費に回す財源が少ないことを表します。



平成 30 年度決算に基づく仙台市の経常収支比率は、97.4 パーセントとなっています。扶助費の増加などにより、近年高い水準で推移しており、財政構造が硬直化している状況にあることを示しています。

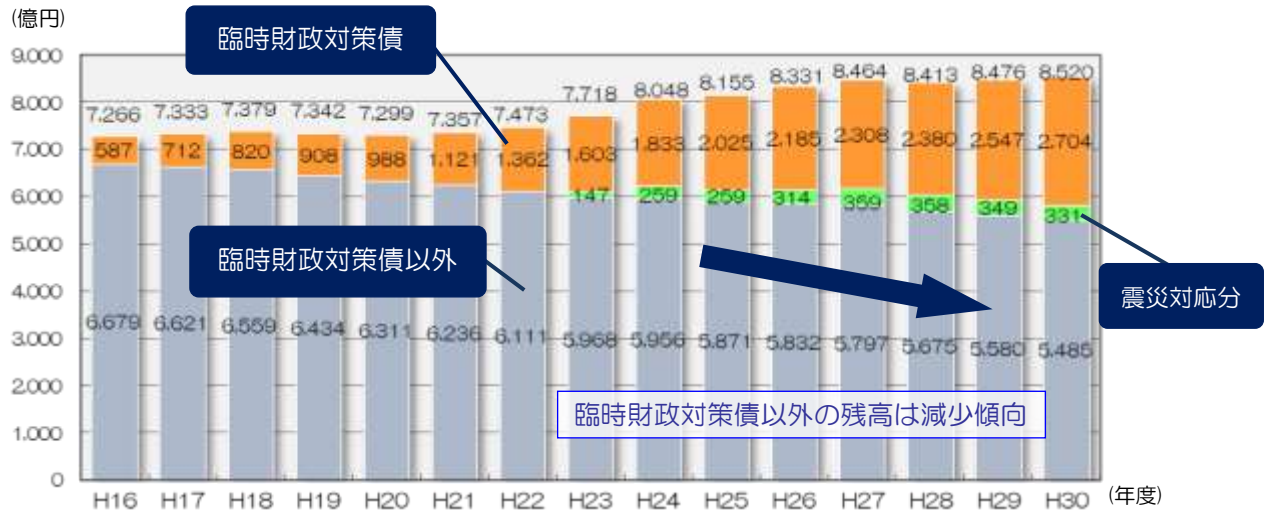
### ※普通会計ってなに？

仙台市には一般会計・特別会計・企業会計の 3 種類の会計があります。しかし仙台市の一般会計の内容が、他都市と同じとは限らずそのままでは比較ができません。そこで、国で「普通会計」という統一の考え方を定めており、地方公共団体は「普通会計」に沿って算出した値によって互いの財政状況を比較します。

仙台市の「普通会計」には、一般会計（一部を除く）・特別会計の一部（都市改造事業特別会計の一部、公共用地先行取得事業特別会計の一部、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計及び新墓園事業特別会計）が含まれます。

## 市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



平成 30 年度決算における一般会計の市債残高は 8,520 億円となり、前年度の決算時点から 44 億円増加しました。

「臨時財政対策債」※ の残高が増加した一方で、それ以外の市債残高については、行財政改革の効果などにより着実に減少しています。

### ※「臨時財政対策債」ってなに？

「臨時財政対策債」とは、地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、**国から本来交付されるべき地方交付税の代わりに、地方が発行する特別な市債**です。仙台市では、近年、**本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています**。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税として手当てされます。

### そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

## 6. 財政見通しと行財政改革

### これからの仙台市財政はどのような？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。

#### 今後の財政見通し

本市の予算規模は、震災からの復旧復興のため一時的に増加したものが事業の進捗に伴い通減する一方で、平成 29 年度から県費負担教職員給与が移譲されたことにより大きく増加し、今後も震災前の水準を上回る規模で推移する見通しです。

歳入面では、市税や譲与税・交付金は堅調に推移する見込みであるものの、歳出面では、復興事業費が減少していく一方で、**高まる保育需要や高齢化の更なる進展等による社会保障関係費や、インフラを含む公共施設の長寿命化対策及び更新にかかる経費が確実に増加し、今後さらに厳しい財政状況となることが見込まれています。**

財政構造の硬直化が進行しているという現状も踏まえ、長期的な視点をより一層重視し、地域経済活性化策による税源涵養や市税・保険料等に係る債権管理の適正化と更なる収入率の向上を図っていくほか、公共施設の老朽化への対応のための長期的な財源確保や事業費の更なる平準化、コスト縮減に努める等、**歳入歳出両面におけるあらゆる取組みを講じ、財政運営の健全性確保に努めてまいります。**

#### 行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様に行行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成 7 年以降、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的な行財政運営に取り組んでいます。平成 31 年 4 月には、今後の市役所経営の方針を明確化するとともに、本市の様々な施策の推進を下支えするものとして、「仙台市役所経営プラン」を策定しました。

#### 具体的にどんなことに取り組むの？

「仙台市役所経営プラン」（計画期間＝令和 4 年度当初まで）における取組みの一部を紹介します。

- ・ 公共施設マネジメントプランの推進
- ・ 市の施設やインフラなどの長寿命化の推進
- ・ 市税や保険料、使用料などの収入率・収納率の向上
- ・ 民間活力の導入などによる行財政運営の効率化
- ・ ICT の積極的な利活用
- ・ 公営企業の経営改革

計画に基づく平成 28 年度当初から 6 年間の取組みの効果として、約 280 億円を見込んでいます。

## コラム：平成30年度決算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、平成30年度の一般会計の決算を年収400万円（1か月あたり33万3千円）とした場合の家計に例えてみました。

### 仙台市の1カ月の家計簿

#### 収入

・給料	24万7千円
基本給(市税)	13万9千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	10万8千円
・パート収入	
(使用料・手数料、財産収入など)	4万0千円
・金融機関からの借金(市債)	3万1千円
・貯金の取り崩し(繰入金)	1万5千円
<b>合 計</b>	<b>33万3千円</b>



#### 支出

・食費(人件費)	7万4千円
・医療費(扶助費)	7万3千円
・住宅ローンの返済(公債費)	3万7千円
・光熱水費、日用品費	
(物件費など)	4万2千円
・家電の買替え、家の修繕	
(投資的経費・維持補修費)	4万5千円
・子どもへの仕送り	
(繰出金・貸付金など)	5万7千円
・将来に備えた貯蓄(積立金)	5千円
<b>合 計</b>	<b>33万3千円</b>



#### 収入

給料でのやりくりに努めていますが、それだけでは全ての支出を賄うことができない状況です。不足額を補うために、貯金を取り崩したり、借金をしたりしています。



#### 支出

食費が全体の22.2%を占めており、最も高い割合となっています。食費、医療費、住宅ローンの返済は義務的な支出であり、これらの合計が全体の55.2%を占めています。

# 地方公会計制度に基づく財務書類

ここからは、「地方公会計制度に基づく財務書類」について説明します。

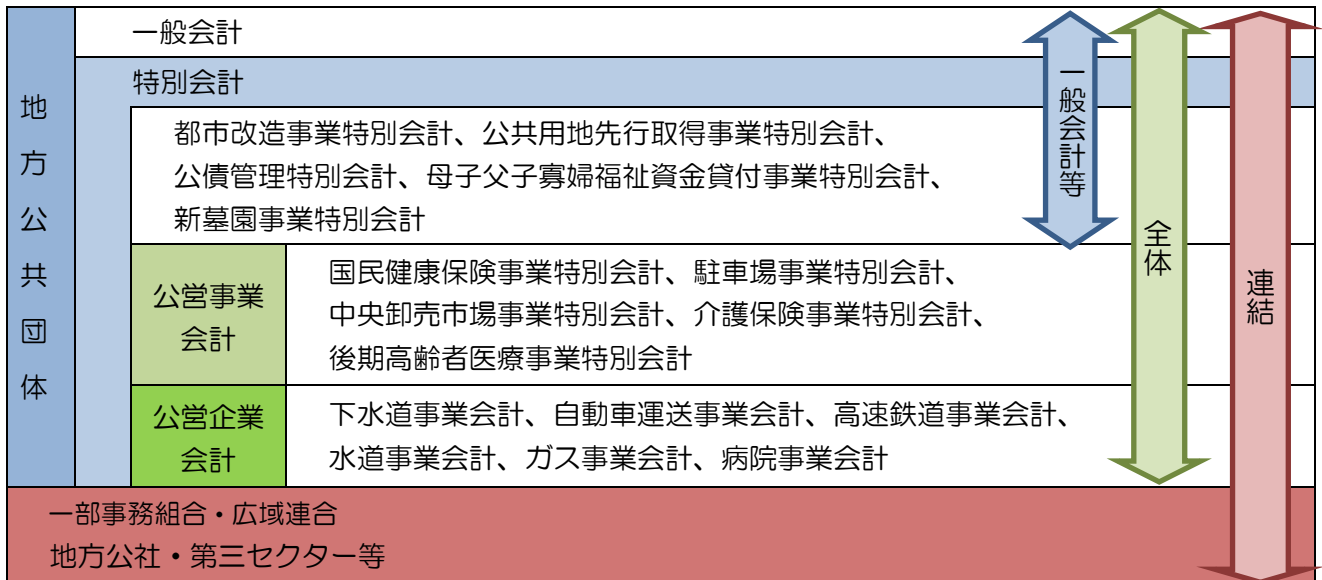
「地方公会計制度に基づく財務書類」は、地方公共団体の決算に民間企業の会計方式（複式簿記・発生主義）の考え方を取り入れたもので、ここまで解説してきた会計方式とは大きく異なります。

「財務書類」を通して、地方公共団体が保有する「資産」や市債などの「負債」の状況、1年間の行政サービスにかかる「費用」の増減などを把握することができます。

## 財務書類の作成区分

地方公共団体における財務書類は、「一般会計等」・「全体」・「連結」の3つの区分で作成されます。それぞれの区分の対象団体は以下のとおりです。

対象に公営企業や外郭団体を含めることで、市の財政状況をより適切に把握することができます。



平成 30 年度決算に基づく財務書類について、概要を説明します。

## 貸借対照表

「貸借対照表」は、年度末の財産の状況を示す財務書類です。市がどれほどの「資産」を保有し、その「資産」をどのような「財源」で賄っているかを表しています。

(単位：億円)

	借 方			貸 方			
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	
<b>固定資産</b>	<b>15,103</b>	<b>25,574</b>	<b>25,806</b>	<b>固定負債</b>	<b>8,901</b>	<b>16,744</b>	<b>16,917</b>
有形固定資産	11,701	23,149	23,291	地方債	7,857	12,118	12,212
事業用資産	8,184	11,153	11,288	退職手当引当金	901	985	1,058
インフラ資産	3,438	11,033	11,033	その他	142	3,641	3,647
物品	79	962	970	<b>流動負債</b>	<b>1,057</b>	<b>1,714</b>	<b>1,764</b>
無形固定資産	69	195	200	1年内償還予定地方債	929	1,323	1,329
投資その他の資産	3,332	2,230	2,314	その他	128	390	435
<b>流動資産</b>	<b>811</b>	<b>1,499</b>	<b>1,627</b>	<b>負債合計</b>	<b>9,958</b>	<b>18,458</b>	<b>18,681</b>
現金預金	160	628	707	<b>純資産</b>	<b>5,955</b>	<b>8,615</b>	<b>8,751</b>
未収金	20	152	198	固定資産等形成分	15,733	26,275	26,507
その他	631	719	722	余剰(不足)分	△ 9,778	△ 17,661	△ 17,800
繰延資産	—	—	—	他団体出資等分	—	—	43
<b>資産合計</b>	<b>15,913</b>	<b>27,072</b>	<b>27,432</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,913</b>	<b>27,072</b>	<b>27,432</b>

(表示単位未満を四捨五入しているため、表内で合計が一致しない箇所があります。)

表の左側は、市が行政サービスを行うために保有している「資産」(土地・建物など)の合計を表しています。

表の右側は、それらの「資産」を形成するために要した財源の内訳(「負債」・「純資産」)を示しています。「負債」とは、市債や退職手当の費用など、将来世代の負担となるものを表します。「純資産」とは、「資産」の合計から「負債」を差し引いたもので、現在までの世代の負担によって得られた資産分と見ることができます。

### 資産の内訳(連結区分)

資産の総額は 2 兆 7,432 億円であり、このうち、庁舎や市民利用施設、学校などやその用地を含む「事業用資産」が 1 兆 1,288 億円(41.2%)、道路や上下水道などの「インフラ資産」が 1 兆 1,033 億円(40.2%)を占めています。

### 負債・純資産の内訳(連結区分)

負債・純資産合計 2 兆 7,432 億円のうち、その大半が借入金である「地方債」1 兆 2,212 億円(44.5%)と「1年内償還予定地方債」1,329 億円(4.8%)です。

「資産」から「負債」を差し引いた「純資産」は、8,751 億円(31.9%)となっています。

## 行政コスト計算書

「行政コスト計算書」では、福祉活動やごみの収集など、1年間の経常的な行政サービスにどれほどの「費用」がかかったのか、また、使用料や手数料など、行政サービスの対価としてどれほどの「収益」が得られたのかを集計しています。

「費用」と「収益」の差引により求められる収支不足額を、「純行政コスト」といいます。

(単位：億円)

	一般会計等	全体	連結
<b>経常費用</b>	<b>4,047</b>	<b>6,807</b>	<b>7,983</b>
業務費用	2,331	3,826	4,034
人件費	1,097	1,362	1,548
物件費等	1,116	2,227	2,217
物件費	734	1,062	1,031
維持補修費	115	208	202
減価償却費	266	752	764
その他	0	205	220
その他の業務費用	118	237	269
移転費用	1,717	2,981	3,948
補助金等	243	1,888	2,855
社会保障給付	1,091	1,091	1,091
他会計への繰出金	382	—	—
その他	1	1	3
<b>経常収益</b>	<b>292</b>	<b>1,441</b>	<b>1,554</b>
使用料及び手数料	162	1,232	1,232
その他	129	208	322
<b>純経常行政コスト</b>	<b>3,756</b>	<b>5,366</b>	<b>6,429</b>
<b>臨時損失</b>	<b>83</b>	<b>78</b>	<b>84</b>
<b>臨時利益</b>	<b>2</b>	<b>12</b>	<b>13</b>
<b>純行政コスト</b>	<b>3,836</b>	<b>5,432</b>	<b>6,499</b>

「費用」と「収益」の差額が「純行政コスト」(=収支不足)

(表示単位未満を四捨五入しているため、表内で合計が一致しない箇所があります。)

収支不足額を表す「純行政コスト」は、税金や国庫補助金などで補われる必要がありません。その過程は次のページの「純資産変動計算書」で表されます。

### 経常費用の内訳（連結区分）

経常費用の総額 7,983 億円のうち、福祉サービスにかかる給付や補助金などの「移転費用」が 3,948 億円（49.5%）を占めています。

## 純資産変動計算書

「純資産変動計算書」では、「純行政コスト」がどのように解消されるのかを表されるほか、**将来世代へ引き継ぐ資源である「純資産」が、当年度中にどのくらい増減したのか**を読み取ることができます。

(単位：億円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	5,913	8,460	8,633
純行政コスト(△)	△ 3,836	△ 5,432	△ 6,499
財源	3,857	5,512	6,605
税収等	2,843	3,521	4,470
国県等補助金	1,015	1,992	2,135
本年度差額	21	81	106
資産評価差額	△ 3	△ 3	△ 3
無償所管換等	25	77	16
他団体出資等分の増減	—	—	—
その他	—	—	0
本年度純資産変動額	42	154	118
本年度末純資産残高	5,955	8,615	8,751

純行政コスト(収支不足)を税収などの「財源」で補填

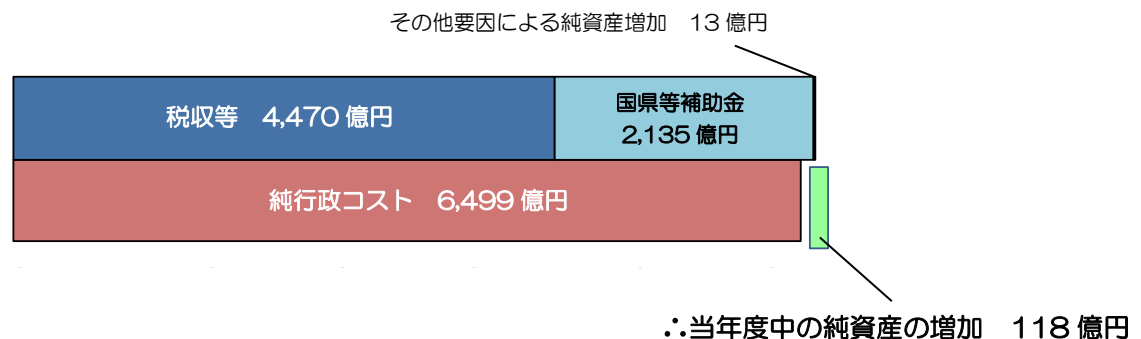
→ 今年度末の純資産額

(表示単位未満を四捨五入しているため、表内で合計が一致しない箇所があります。)

### 純資産変動の分析(連結区分)

行政サービスに要した費用のうち、直接的な対価によって賄うことができなかった収支不足額である「純行政コスト」6,499億円が、「税収等」4,470億円、「国県等補助金」2,135億円の財源計6,605億円で補われていることが分かります。

そのほか、「資産」の無償譲渡等による13億円の増加があったため、「純資産」は昨年度末から118億円増加し、8,751億円となりました。





## 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当年度中の「資金（＝現金）」の出入りを、3つの事業活動区分に分けて表すものです。最終的な計算結果は、貸借対照表の「現金預金」の残高と一致します。

(単位：億円)

	一般会計等	全体	連結
<b>1. 業務活動収支</b>	<b>252</b>	<b>610</b>	
業務支出	3,809	6,084	
業務費用支出	2,090	3,101	
移転費用支出	1,719	2,983	
業務収入	4,070	6,720	
税金等収入	2,841	3,474	
国県等補助金収入	938	1,832	
使用料及び手数料収入	161	1,228	
その他の収入	130	186	
臨時支出	9	27	
臨時収入	0	1	
<b>2. 投資活動収支</b>	<b>△ 275</b>	<b>△ 494</b>	
投資活動支出	953	1,239	
公共施設等整備費支出	429	712	
基金積立金支出	365	400	
投資及び出資金支出	32	—	
貸付金支出	127	127	
その他支出	0	0	
投資活動収入	679	746	
国県等補助金収入	76	141	
基金取崩収入	438	439	
貸付金元金回収収入	145	145	
資産売却収入	18	18	
その他の収入	3	3	
<b>3. 財務活動収支</b>	<b>△ 3</b>	<b>△ 160</b>	
財務活動支出	799	1,189	
地方債償還支出	776	1,166	
その他の支出	22	23	
財務活動収入	795	1,030	
地方債発行収入	795	1,030	
その他の収入	—	—	
<b>本年度資金収支額</b>	<b>△ 26</b>	<b>△ 44</b>	<b>△ 81</b>
前年度末資金残高	159	646	762
比例連結割合変更に伴う差額	—	—	—
<b>本年度末資金残高</b>	<b>134</b>	<b>602</b>	<b>681</b>
歳計外現金	前年度末残高	54	54
	本年度増減	△ 28	△ 28
	本年度末残高	26	26
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>160</b>	<b>628</b>	<b>707</b>

省  
略

### 業務活動収支

行政サービスに要する費用や税金など、市の経常的な行政活動に関する収支を表します。

### 投資活動収支

公共施設の整備や、それに伴う補助金の受入など、市の資本形成活動に関する収支を表します。

### 財務活動収支

地方債の発行による収入や、償還に係る支出など、負債の管理に関する収支を表します。

※連結区分は資金収支計算書の作成を省略しています。

貸借対照表「現金預金」と一致

(表示単位未満を四捨五入しているため、表内で合計が一致しない箇所があります。)

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

# 1. 平成30年度特別会計・企業会計決算の状況

## (1) 収支の状況

### ① 特別会計

(単位：千円)

	歳入決算	歳出決算	歳入歳出 差引	翌年度 繰越財源	実質収支
都市改造事業	7,201,507	5,436,633	1,764,874	1,764,874	0
国民健康保険事業	93,225,461	93,009,230	216,231	0	216,231
中央卸売市場事業	3,067,908	3,067,908	0	0	0
公共用地先行取得事業	1,752,615	1,752,615	0	0	0
駐車場事業	248,466	248,466	0	0	0
公債管理	110,563,121	110,563,121	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	181,058	150,821	30,237	0	30,237
新墓園事業	982,907	915,844	67,063	933	66,130
介護保険事業	74,540,727	72,412,956	2,127,771	0	2,127,771
後期高齢者医療事業	11,354,399	11,276,959	77,440	0	77,440
合 計	303,118,169	298,834,553	4,283,616	1,765,807	2,517,809

### ② 企業会計

(単位：千円、消費税込み)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
下水道事業	37,109,994	34,514,770	2,595,224	22,250,440	35,582,778	△ 13,332,338
自動車運送事業	10,437,017	10,492,127	△ 55,110	1,230,920	1,691,902	△ 460,982
高速鉄道事業	24,781,567	26,419,469	△ 1,637,902	3,863,593	10,573,147	△ 6,709,554
水道事業	30,127,094	25,558,876	4,568,218	5,390,286	15,118,868	△ 9,728,582
ガス事業	38,658,010	35,217,370	3,440,640	1,570,455	7,321,501	△ 5,751,046
病院事業	16,828,747	18,263,965	△ 1,435,218	1,001,668	1,630,375	△ 628,707
合 計	157,942,429	150,466,577	7,475,852	35,307,362	71,918,571	△ 36,611,209

※ 収益的収支とは、公営企業の経営活動により発生した収益と費用のことです。資本的収支とは、公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費等とその財源となる収入のことです。

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、差引や合計が一致しない場合があります。上の決算で支出が収入を上回っている部分は、企業が活動していく上で蓄えられた内部留保資金などで対応しています。

## (2) 平成30年度に行った主な事業

### ① 特別会計

#### ■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- ・ 蒲生北部地区の被災市街地復興土地区画整理事業を行い、都市基盤の再整備と防災集団移転促進事業移転跡地等の整理・集約（建物等移転補償、道路・下水道等造成工事、宅地造成工事）を行いました。

#### ■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- ・ 平成30年4月から、国民健康保険の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・ 被保険者の医療費等に614億円を支出しており、財源については県からの交付金等により賄われています。
- ・ 医療費水準や所得額等に応じて負担する国民健康保険事業費納付金に255億円を支出しました。

#### ■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- ・ 本場では、青果棟・大倉庫棟床の改修や水産棟・青果棟空調機器の更新、花き市場の管理棟屋根の改修等を行いました。
- ・ 食肉市場では、経年劣化した冷凍機設備の改修や汚水処理施設改築の実施設計を行いました。

#### ■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- ・ 一般会計での先行取得用地の引取は、66.11㎡でした。

#### ■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- ・ 延べ利用台数は、3駐車場合計で613,107台でした。
- ・ 前年度の利用台数と比較すると、二日町駐車場で0.3%減少、勾当台公園地下駐車場で5.7%減少、泉中央駅前駐車場で0.7%減少し、全体では2.4%減少しています。

### ■ 公債管理特別会計

(仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計)

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 元利金の支払が836億円、新規記録・引受手数料などの諸費用が2億円、市債管理基金への積立が268億円でした。

### ■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

(母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計)

- 貸付実績は、母子福祉資金94件5,008万円、父子福祉資金6件139万円、寡婦福祉資金3件146万円でした。
- 平成30年度末の貸付残高は、母子福祉資金5億9,115万円、父子福祉資金438万円、寡婦福祉資金1,412万円でした。

### ■ 新墓園事業特別会計

(長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計)

- 仙台市いずみ墓園において、芝生墓所の区画割工事等を行いました。
- 新規貸出募集は、春と秋に2回実施し、貸出数は、一般墓所139基、芝生墓所184基、個別集合墓所218基で、合計541基でした。

### ■ 介護保険事業特別会計

(65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計)

- 介護を必要とする方が、居宅や特別養護老人ホームなどの施設で受けた各種の介護サービスに要した保険給付額は、640億円でした。
- 要介護等の認定を受けている方は、4万6,035人となりました。
- 介護予防や地域包括支援センター運営などの地域支援事業費は43億円でした。

### ■ 後期高齢者医療事業特別会計

(75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象に医療の実施などを行う宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計)

- 市内の被保険者に保険料として93億円をご負担いただき、宮城県後期高齢者医療広域連合へ納付金として支出しました。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために16億円を支出しました。

## ② 企業会計

### 下水道事業会計（下水道事業の会計）

- 災害復旧事業としては、南蒲生浄化センター等の災害復旧工事を実施しました。
- 地震対策事業としては、第3南蒲生幹線工事や広瀬川幹線等の合流管耐震化工事（更生工法）等を実施しました。
- 浸水対策事業としては、原町東部雨水幹線工事等の雨水管きょ整備や、鶴巻ポンプ場設備工事等のポンプ場整備を実施しました。

#### 平成30年度普及状況

• 行政区域内人口（A）	105万8,689人
• 処理区域内人口（B）	105万5,456人
• 水洗化人口	105万1,624人
• 人口普及率（B/A）	99.7%
• 処理区域面積	1万7,513ha

### 自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- 経営の効率化及び改善に向けて、平成30年4月のダイヤ改正において運行経路の見直しや需要動向に応じた便数調整を行いました。また、平成30年10月に「学都仙台フリーパス」及び「都心バス均一運賃」等の運賃改定を行いました。
- 利用促進に向けて、市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配布しました。
- バス待ち環境の向上のため、バス停留所上屋や電照式停留所の設置を引き続き行いました。
- 安全運転の強化や乗務員の接遇向上に向けて、ドライブレコーダーの映像を活用した研修を引き続き実施したほか、経験年数の短い乗務員に対する添乗指導を行いました。
- バリアフリー化の推進や環境対策として、低公害ノンステップバスの導入を継続して進めました。

#### 平成30年度運行状況

• 営業路線延長	568.3km
• 乗車人員	延べ3,852万7,481人

※乗車人員は、前年度に比べ0.6%の減となりました。



### 高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- 安全性向上のため、平成30年4月18日に発生した南北線の漏電による全線運休事故を受け、再発防止策を講じるとともに、お客様へより早く正確な情報を提供するためのマニュアルの整備等を行いました。また、南北線において、運行管理システムや高圧受電設備の更新等を進めました。
- バリアフリー化の一環として、駅出入口の階段の段差を分かりやすくし、駅構内では点字サインの案内図や非常用警報装置等の誘導・案内設備を整備しました。また、駅トイレについて、入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を含めた全面改修を実施しました。
- サービス向上・インバウンド推進のための取組みとして、複数の外国語で運行情報や災害時の避難誘導情報等を提供するための旅客案内設備の更新等を行いました。
- 利用促進に向けた取組みとして、市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配付したほか、人気映画の公開等に合わせ、駅構内を活用したスタンプラリーを始めとした各種のタイアップ事業を実施しました。
- 事業運営の効率化のため、新たに五橋駅及び大町西公園駅を加えた19駅において駅業務の委託を行いました。

#### 平成30年度運行状況（南北線・東西線）

- 営業路線延長 28.7km
- 乗車人員 延べ9,089万2,612人

※乗車人員は、前年度に比べ2.9%の増となりました。

### 水道事業会計（上水道事業の会計）

- 災害時でも安定した給水が行えるよう、管路や施設の更新・耐震化や、単独配水区域の解消を進めました。
- 災害対応力の強化のため、災害時給水施設の設置拡大や自家発電設備の更新など長期停電対策を進めました。
- 環境負荷の低減を目指し、LED式照明への改修など省エネルギー型機器への切替を行いました。
- 水道事業に対するお客様の理解を深めるために、水道フェアや各種ツアーを実施しました。

#### 平成30年度普及状況

- 給水人口 105万8,549人
- 人口普及率 99.7%
- 配水量 1億2,029万 $\text{m}^3$

※配水量は、前年度に比べ0.1%の増となりました。



## ガス事業会計（都市ガス事業の会計）

- 住宅メーカーや不動産会社等への訪問巡回や機器販売店との連携による販売会において、お客さまのニーズに応じた提案を行い、新築時やリフォーム時に都市ガスを選択いただけるよう努めました。
- さらなる安定供給の確保を図るため、24時間集中監視を行う供給監視システムの更新に着手するとともに、経年管の入替えを着実に推進してまいりました。

### 平成30年度供給状況

- 需要家戸数 34万4,810戸
- 供給区域内の普及率 62.1%
- ガス販売量 3億1,586万<sup>3</sup>m

※販売量は、前年度に比べ0.8%の減となりました。



## 病院事業会計（市立病院事業の会計）

- 仙台医療圏の中核病院として複雑多様化する医療ニーズに的確に対応するとともに、高度な医療技術と診療機能を発揮して、市民の「健康の増進」と「福祉の向上」に努めました。
- 救命救急医療、小児救急医療、身体合併症精神科救急医療、周産期医療をはじめとする、自治体病院の使命である政策的医療の提供に注力しました。

### 平成30年度に利用した患者数

- 外来 延べ 22万6,671人
- 入院 延べ 15万 454人

※患者数は、前年度と比べると、外来で1.7%、入院で1.3%増加しました。



## 2. 令和元年度上半期の財政状況（令和元年9月30日現在）

ここからは、令和元年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。

### （1）予算の執行状況

#### ① 一般会計

令和元年度の予算現額(令和元年度予算に30年度繰越額及び令和元年6月補正を反映させた予算額)は約5,840億円です。予算の執行率は歳入が37.3%、歳出が32.7%です。

#### 歳入予算の項目執行状況

(単位：千円)

会計名	予算現額	収入済額	収入済率
市 税	218,949,000	113,759,820	52.0%
国庫支出金	94,752,886	30,787,557	32.5%
市 債	66,024,400	0	0.0%
繰入金	49,489,789	12,300,000	24.9%
諸収入	37,417,197	4,057,760	10.8%
地方交付税	21,274,544	17,282,992	81.2%
その他	96,077,482	39,911,511	41.5%
合 計	583,985,298	218,099,640	37.3%

※ 収入済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

#### 歳出予算の項目執行状況

(単位：千円)

会計名	予算現額	支出済額	支出済率
健康福祉費	201,055,078	72,648,227	36.1%
教育費	110,916,294	39,485,506	35.6%
土木費	74,129,767	18,096,977	24.4%
公債費	57,751,466	0	0.0%
総務費	48,723,035	21,694,299	44.5%
経費	31,123,962	14,955,609	48.1%
その他	60,285,696	23,809,381	39.5%
合 計	583,985,298	190,689,999	32.7%

※ 支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 公債費の支出済率が0%となっているのは、市債の元利償還や利子の支払いを一括管理している公債管理特別会計への精算処理を出納整理期間中に行うためです。

## ② 特別会計

## 令和元年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名	予算現額	収入済額	収入済率	支出済額	支出済率
都市改造事業	7,131,192	1,764,964	24.7%	1,221,215	17.1%
国民健康保険事業	90,993,311	33,368,760	36.7%	37,255,431	40.9%
中央卸売市場事業	3,283,762	746,122	22.7%	615,136	18.7%
公共用地先行取得事業	1,215,198	210,903	17.4%	531,225	43.7%
駐車場事業	254,131	93,717	36.9%	53,859	21.2%
公債管理	127,552,978	25,000,000	19.6%	43,786,828	34.3%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	80,273	79,400	98.9%	22,100	27.5%
新墓園事業	1,200,488	253,669	21.1%	236,397	19.7%
介護保険事業	75,418,927	31,968,113	42.4%	30,701,698	40.7%
後期高齢者医療事業	11,748,225	4,041,875	34.4%	4,084,531	34.8%
合 計	318,878,485	97,527,523	30.6%	118,508,420	37.2%

※ 収入済率及び支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

## ③ 企業会計

## 令和元年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名	収益的収支			資本的収支			
	予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率	
下水道事業	収入	38,478,444	10,220,111	26.6%	33,930,942	7,407,015	21.8%
	支出	36,845,438	4,495,618	12.2%	46,772,051	13,733,594	29.4%
自動車運送事業	収入	10,453,548	6,018,910	57.6%	1,374,960	187,000	13.6%
	支出	11,281,558	4,165,245	36.9%	1,856,864	414,928	22.3%
高速鉄道事業	収入	24,574,466	10,229,708	41.6%	3,060,917	450,144	14.7%
	支出	27,188,145	4,212,159	15.5%	10,093,902	3,739,204	37.0%
水道事業	収入	30,280,026	12,155,977	40.1%	8,522,083	322,022	3.8%
	支出	28,437,652	6,427,678	22.6%	20,710,972	5,557,238	26.8%
ガス事業	収入	44,152,164	17,806,225	40.3%	4,762,938	66,054	1.4%
	支出	40,572,507	1,283,687	3.2%	9,572,093	3,401,796	35.5%
病院事業	収入	17,187,527	8,138,079	47.3%	1,134,694	563,128	49.6%
	支出	19,243,970	6,529,794	33.9%	1,772,489	852,194	48.1%
合 計	収入	165,126,175	64,569,010	39.1%	52,786,534	8,995,363	17.0%
	支出	163,569,270	27,114,181	16.6%	90,778,371	27,698,954	30.5%

※ 執行率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 消費税込みの金額となっています。

## (2) 市債、市有財産、基金などの状況

## ① 市債の状況

## 会計別市債現在高

(単位：千円)

	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金・簡易生 命保険管理 機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	841,916,223	182,167,915	6,638,619	71,536,779	455,874,325	125,698,585
特別会計	32,279,350	2,261,711	42,287	6,695,834	15,625,675	7,653,843
都市改造事業	18,126,174	351,616	42,287	682,224	14,113,875	2,936,172
中央卸売市場事業	10,802,705	1,910,095	0	6,013,610	44,000	2,835,000
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	0
駐車場事業	0	0	0	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	593,831	0	0	0	0	593,831
新墓園事業	2,756,640	0	0	0	1,467,800	1,288,840
企業会計	440,910,313	123,998,900	35,640,439	185,676,802	0	95,594,172
下水道事業	190,869,972	34,987,443	34,986,537	68,663,366	0	52,232,626
自動車運送事業	2,585,650	142,156	5,668	230,701	0	2,207,125
高速鉄道事業	127,581,537	16,457,383	648,234	78,206,574	0	32,269,346
水道事業	62,135,901	35,403,787	0	21,936,092	0	4,796,022
ガス事業	35,245,552	21,609,902	0	13,403,507	0	232,143
病院事業	22,491,701	15,398,229	0	3,236,562	0	3,856,910
合計	1,315,105,886	308,428,526	42,321,345	263,909,415	471,500,000	228,946,600

## 一般会計のうち目的別内訳

(単位：千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	7,123,980	高速鉄道事業債	107,418,319
市民債	34,105,615	水道事業債	2,954,106
健康福祉債	41,221,797	災害復旧債	2,909,577
環境債	8,148,068	減税補てん債	29,609,400
経済債	3,839,486	臨時税収補てん債	263,000
土木債	249,514,198	臨時財政対策債	270,013,409
消防債	15,227,476	減収補てん債	6,629,400
教育債	62,938,392	合計	841,916,223

## ② 市有財産、基金の状況

## 一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産 <sup>※1</sup>		普通財産 <sup>※4</sup>	合 計
		公用財産 <sup>※2</sup>	公共用財産 <sup>※3</sup>		
土地	m <sup>2</sup>	2,005,901	32,789,146	14,837,379	49,632,426
建物	m <sup>2</sup>	362,965	3,125,511	76,722	3,565,198
山林（市有林）	m <sup>2</sup>	3,326,535		17,892,760	21,219,295
立木	m <sup>3</sup>	59,685		393,294	452,979
物権	m <sup>2</sup>	35,984		8,060	44,044
動産	機	2		0	2
無体財産権	件	25		0	25
有価証券	千円			157,879	157,879
出資による権利	千円			9,983,403	9,983,403
物品	千円			21,323,572	21,323,572
債権	千円			19,857,775	19,857,775
基金 <sup>※5</sup>	千円			277,601,591	277,601,591

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m<sup>2</sup>と普通財産の12,872,435m<sup>2</sup>は山林（市有林）と重複しています。  
また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、18の基金が設置されています。

（18の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、東日本大震災復興交付金基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、国民健康保険事業財政調整基金、土地開発基金、介護保険事業財政調整基金）

## 企業会計の財産

(単位：千円)

	下水道事業	自動車 運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合 計
土地	20,095,036	2,844,084	14,023,655	8,597,129	8,702,851	9,170,830	63,433,585
土地面積(m <sup>2</sup> )	2,066,156	125,675	245,286	2,388,848	284,616	35,018	5,145,599
建物	28,899,524	983,498	39,352,868	6,489,224	2,883,451	15,672,899	94,281,464
建物面積(m <sup>2</sup> )	122,432	14,318	242,745	72,867	38,794	55,800	546,956
構築物	475,144,860	204,649	192,047,012	138,491,962	28,213,702	316,026	834,418,211
未竣工施設建設仮勘定	30,720,252	157,467	578,215	5,232,916	537,170	0	37,226,020
車両運搬具	12,636	825,590	7,262,792	63,906	78,257	416	8,243,597
機械及び装置	56,276,758	65,500	7,878,876	12,204,751	5,486,229	2,097,214	84,009,328
器具工具備品	40,326	498,815	157,767	357,741	42,833	0	1,097,482
リース資産	0	0	0	248,489	19,936	0	268,425
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,736	93,285	69,500	141,897	0	360,418
無形固定資産	3,523,758	16,998	1,367,838	6,112,624	821,031	183,478	12,025,727
合計 (千円)	614,740,150	5,625,337	262,762,308	177,868,242	46,927,357	27,440,863	1,135,364,257

※ 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、無形固定資産については、減価償却後の金額。

## ③ 一時借入金の状況

(単位：千円)

会 計 名		現 在 高
一 般 会 計		0
特 別 会 計		0
企 業 会 計		0
内 訳	下 水 道 事 業	0
	自 動 車 運 送 事 業	0
	高 速 鉄 道 事 業	0
	水 道 事 業	0
	ガ ス 事 業	0
	病 院 事 業	0
合 計		0

※ 一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

# 仙台ふるさと応援寄附

## 仙台ふるさと応援寄附



平成28年4月1日、「杜の都・仙台絆寄附」が「仙台ふるさと応援寄附」へ生まれ変わりました。

仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。

皆様の寄附による仙台市への応援をよろしくお願いいたします。

### ● 寄附金の使いみち

皆様からお寄せいただいた寄附金は、次の事業に活用させていただきます。  
なお、お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災復興	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 震災遺構・メモリアル施設運営
<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)	<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 子育て支援
<input type="checkbox"/> 学校まなび応援	<input type="checkbox"/> 学び・文化財・ミュージアム事業 応援	<input type="checkbox"/> 障害者施策推進	<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進
<input type="checkbox"/> 保健福祉推進	<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業支援	<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援
<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金	<input type="checkbox"/> 八木山動物公園 オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 環境保全
<input type="checkbox"/> 自転車安全利用促進	<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興
<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。	

### ● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

### ● 税制面の優遇

#### ○ 事業者の方

申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。

#### ○ 個人の方

寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。

一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

### ● 寄附のお申し込み

ホームページ「ふるさとチョイス」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

### ● 問合せ先

○ 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111

○ 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。  
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

## 仙台市 宝くじ情報



みなさん  
宝くじは  
仙台市内で  
買ってね。



宝くじのイメージキャラクター  
「クーちゃん」

宝くじは、**宮城県内**でお買い求めください!!

宮城県内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、道路や、児童館の整備、芸術文化振興事業などの貴重な財源として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索

宝くじ公式サイトなら  
いつでもどこでも宝くじが買える!



ジャンボ  
宝くじも  
買える!

宝くじ

[交通局からのお知らせ]

# 🚗 \ お出かけには**市バス・地下鉄**をご利用ください / 🚇

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！  
**地下鉄**は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、お出かけの計画も立てやすい！  
お得な運賃制度も色々ご用意していますので、お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。



市バス

## 市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は「お得に、」時短で、

○経路・運賃・時刻表は



せんだい市バス・地下鉄ナビ

<http://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

バスの接近情報をネットでお知らせ



<http://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには

LOOPLE SENDAI  
るーぷる仙台



<http://loople-sendai.jp/>



仙台市地下鉄  
SENDAI SUBWAY

## 市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 210 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/210enkinnitu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぷる仙台・地下鉄共通 1 日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/card.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

[https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai\\_index.html](https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html)

お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



IC チップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機

またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

乗車回数や利用金額に応じてポイントも貯まります！

 仙台市交通局  
Transportation Bureau City of Sendai

お問い合わせ

交通局案内センター 022(222)2256

月～金/8:30～18:30、土・日・祝/8:30～17:00

 Twitter でも情報発信中！ @sendaishi\_kotu



交通局 HP



## みんなの財政のミカタ

令和元年12月

編集・発行 仙台市財政局財政部財政企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7-1

電話 022 (214) 8111

FAX 022 (262) 6709

E-MAIL [zai003005@city.sendai.jp](mailto:zai003005@city.sendai.jp)